

私保連しまね

No.39

Contents

- 会長就任にあたって…… 2
- 新役員・専門部員紹介… 4
- フレッシュ先生の紹介… 6
- こんな活動やってます… 8

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



夏!! 高津川で遊ぶ

夏と言えば…やっぱり高津川！何度遊んでも、いくつになっても来ても“楽しい！気持ちいい！おもしろい！”場所です。

この6年は、高津川での川遊びを通じて、小学生や中学生、他園のお友だちとも交流しています。保育園時代から全身で感じた高津川のこと、たくさんの人達と触れ合ったことをいつまでも思い過ごせるように、この夏もたっぷり遊びます。

神田保育園 園長 塩満恭子



水が
きもちいい～

早く早く～

上手に
泳げるように
なったよ!!



<http://www.sweet-house.jp/shimane-shihoren>





会長就任にあたって

島根県私立保育園連盟
会長 吉田 哲明



平素より島根県私立保育園連盟につきまして、ご協力ご理解を賜り厚く感謝申し上げます。

去る五月に開催されました平成二十七年総会において、再び会長に選任されました。今後も皆様方のご理解をいただきながら、また新たな役員一同で職務を遂行していきたいと思っておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

また、中国四国ブロック会においても、全国私立保育園連盟の理事として引き続き選出されたことも、あわせて責務を痛感しているところであります。この中国四国ブロックでは、平成二十七年と二十八年度の二年間、島根県私立保育園連盟が事務局となり、お世話をしていくことになっていきます。ちなみに、中国四国ブロックの研修会は、「子どもの育ちを支える」保育実践をテーマとして、今年度は十一月五日(木)に広島市での開催ですが、来年度には島根県で開催することになりました。その際には会員の皆様方にもご協力をいただきたいものと存じます。

さて、平成二十七年は新保育支援制度が施行され、保育界に新たな転換期を迎えました。

この新制度は、少子化と言われながら、都市部を中心とした待機児の解消をめざし、量的拡充と質的向上をし、保育所への入所枠を広げるものが主なねらいでありました。しかしながら、これも税と社会保障の一体改革といわれ、消費税との兼ね合いもあって、施行年度になっても公定価格について、詳細が伝わってこず不明なことが多い状況で、保育現場では不安を生じました。このようなことで、子どもたちを預かるものとして、最善の保育を提供することが出来るのか今も懸念しています。また、新会計基準への移行も完全実施されました。加えて、「社会福祉法人制度改革」についても審議されており、今後も注視していく必要があります。

島根県は、過疎化が進み、人口減少地域があり、小規模保育所があります。その反面、待機児解消等のため定員増等により大規模な保育所もあり、様々であります。また全国的にみても、都市部でも平成二十九年度をピークとして人口が減少していくといわれるところもあります。この人口変動にかかわらず、子どもたちが健やかに成長するために、保育制度や予算対策運動などを通じて、わ



れわれ保育関係者は、絶えず努力していかなければなりません。

島根県私立保育園連盟においては、このたびの総会で規約の改正等をして、組織機構を若干変更しました。

まず、会員資格の見直しです。以前から懸案であった認定こども園の加盟の件です。これには、従来の認定こども園制度が出来てから、理事会においても継続審議となり、保留状態が続いていました。このたびの新制度施行にあわせ今後加盟している認可園が移行する場合を鑑み、認可保育所、認定こども園（連携型及び保育所型の保育所部分）、そして小規模保育事業（A及びB型）の施設としてその代表者となりました。同時にこれは全国私立保育園連盟にも連動するような形になっております。

また、青年会議についてですが、平成十一年二月に設立されて以来、平成十九年度頃より全国青年会議幹事会に参画するようになり、またその間には「出前」研修など画期的な事業展開をしておりました。しかしながら、若年層リーダー職の掘りおこしには限界もあり、近年では底辺を広げ加入を試みてきました。これにもかかわらず、実際に活動に携わる人が限定され、活動も十分に実施出来ない状態になりました。

この状況については、数年前より青年会議から運営報告や組織のあり方について相談を受けておりましたが、このたび、単独の青年会議というのではなく、私保連の専門部の一つとして位置づけ、青年部を設けることとしました。そして、将来の私保連を担う人たちの育成の観点からも、今まで

の活動を続けようということになりました。むしろ青年部への部員として広く加入を働きかけることとなりますので、加盟園の施設長先生方には、どうかご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

このように、新役員や新たな組織体制で、この私保連を運営することになりました。全国私立保育園連盟との連携をも保ちながら、各部事業活動を主軸にして今まで以上に事業遂行にあたる所存でございます。

そのためには、会員皆様方からご理解と様々なご協力をいただかなければできないものです。どうか絶大なるご支援を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。



新役員紹介

副会長

愛恵保育園 南場安正



今期、副会長を
させて頂きま
す、第1ブロック・
松江市から出まし
た愛恵保育園の

南場安正と申します。広報部を担当
させて頂きたくとなりました。
改めて、一加盟園であることの恩恵
と責任を感じています。

役員としての働きや広報部の活動を通
じて、より多くの方々と交流がで
きたらと願っています。顔と顔、声と声
のふれ合いから、お互いがいきいきと
なる私保連らしい発想や大きな課題に
向かっていく協力が生まれるはず…そ
う期待しながら、務めに励みます。ど
うぞよろしく願います。

副会長

わらべのうち保育園 清水純子



第2ブロック出
雲市わらべのうち
保育園の清水です。
研修部のお手伝い
をさせて頂きます。

専門部

予算対策部

部長 たちばな保育園 堀江泰誠



この度予算対策部部
長をさせて頂きま
す堀江です。平成二十
七年四月からの子育て
支援制度も始まり、ま
だまだ多くが不明確で、全国いたるところで
混乱をきたしています。また、社会
福祉法人法の改正も喫緊の課題として、
審議され実行されようとしています。

保育園運営主体である社会福祉法人も
揺れ動いている中、地域行政も保育現場
も安定して子どもたちの為にしっかりと
構えている場所がないというのは、危機
感を感じざるを得ません。

新たな制度というのは、時間をかけて
熟成されるものでありますので、最初の
方向性を間違えることなく、そして施行
後も常に現状を踏まえ改正されなければ
ならないと考えています。そのために
多くの先生方の声を頂き、県へそして国
へ、大きな力として現場の声を発信して
いかなければなりません。

会員の先生方におかれましては、更なる
ご理解とご協力を頂き、今後とも予算
対策部へお力を頂きますようお願い申し
上げます。

副部長

みのり保育園

志田尾義喜

研修部

部長 わたりはし保育園

岡崎由美子



今期も研
修部長を務め
させて頂きま
す出雲市
わたりはし保

育園の岡崎由美子です。全国大会
での提案発表も軌道にのり、昨年
度の岩手大会、今年度の鳥取大会、
来年度の東京大会と三大会連続で
参加する事ができました。

今後も積極的な研究活動に助
成をさせて頂きたいと考えて

広報部

部長 あゆみ保育園

山本恵子



この度の
改選により
引き続き広
報部を担当
することに

なりました。

副部長の長崎先生とともに、
会員の皆様に喜んでいただける
ような広報を作りたいと思っ
ております。

単調な内容になってしまわな
いよう工夫していきたいと思

ています。保育士研修は連続で
飯田和也先生に來県していただ
いています。昨年度までは指導
計画を書く事の基本を丁寧指
導していただきました。今年度
は「保育の質を高める」をテー
マに指導していただきます。質
の高い現場を作るために何が必
要なのか教えていただきます。
今後も宜しくお願いします。

副部長 阿須那保育所

山本由美子



ますが、皆様からのアドバイス
や情報提供をお待ちしておりま
す。そして、「こんな活動やっ
てます」「フレッシュ先生」の
コーナーでは、各ブロックごと
に理事を通して原稿依頼をして
おりますのでご協力をよろしく
願います。

副部長

隠岐共生学園第一保育所

長崎八重美





「子どもの育ちを支える運動」を展開しています「保育通信」の記事とブロック研修会の鯨岡峻教授の講演を楽しみにしております。子育てが安心して営まれるよう、又新制度が充実した子育て支援となりますよう県私保連からの情報発信や現場の声を救い上げて繋ぎ、子育ての応援ができればと思っています。よろしくお願い致します。

副会長

あさり保育園 相山 慈



今期も引き続き副会長として活動していくことになりました。

他の役員の方みなさんを見てしっかりと学ばせてもらい、少しでも私保連に貢献していけるよう努めていきます。

新制度への対応を始め、やらなければいけないことは相変わらず多いわけですが、間違いなく進んでいる過疎、それに伴う少子化にどう対応していくかも今の大きな課題と考えています。

特に江津市ではかなりのスピードで過疎が進んでいくことが予想されており、その中で保育園がどんな役割を果たすかが問われている時だと感じています。そんな状況に対して私保連として何ができるのか。そんなことも考えていきたいと思っています。

調査部

部長 神田保育園 塩満 恭子



昨年度から理事となり、活動させていただいており

ますが、私保連に加入してからまだ日が浅く、理事の先生方から学ばせていただくことばかりです。本当に力不足ですが、多くの先生方のご指導をいただきながら、自分なりに精一杯頑張りたいと思っています。

今年度の調査部は、昨年度に引き続き、保育士不足の課題解決に向けた調査を行っていきます。

昨年度は、保育士を目指す学生に対して「就職に際しての意識アン

ケート」を実施しましたが、今年度は、保育現場に勤務している三年未満の職員の方々へ「就職後の意識アンケート」を実施し、今後の就労環境の充実、人材育成につなげていくことができればと思っています。

各園の先生方には、お手数をおかけしますが、調査部として、少しでも会員の先生方に還元できるものとなるよう、実施していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



副部長 ひろせ保育園 舟谷 法子

青年部・事務局

部長 みどり保育園 部長 岩倉 善光



今年度より島根私保連の事務局を受け継ぐ事になりました。

した。事務局としてお手伝いが出来る事を嬉しく思いますが、私自身が組織についての見識が

浅い為に、会員の先生方に迷惑をかけてしまうかも知れませんが、怠け者の私ですが、精一杯努めますのでご協力を宜しくお願い致します。

また青年部の部長としても併せて務める事になりました。青年部として新しくスタートする為、手探りではありますがどうぞ宜しくお願い致します。

監事

ほくよう保育園 尾添 博美



この度前期より引き続き、監事を務めさせていただくことになりました。出雲市ほくよう保育園の尾添博美と申します。

監事という身に余る務めを、二期に亘り務めさせていただくことに、その責任の重さを強く感じています。

皆様に「指導をいただきながら、今期も微力ながら、連盟のために与えられた任務を果たしていきたい」と思います。

どうぞよろしくお願い致します。



部長 東光保育園 静間 澄香



どこに入れたのか... うっかり捨ててしまったのか...、捜し物に時間のかかる最近。仕事もはかどらず「もうっ」と思っていると、賑やかな楽しそうな歓声が聞こえ、つい目や耳が奪われてしまっています。「保育園っていいね」「子どもっていいね」「こういう環境で仕事ができ

て幸せ！」に切り替わる瞬間です。職場の仲間助けられながら錆びかけた頭や心を磨くつもりで役員会に出席しようと思っています。

フレッシュ先生の紹介

平成27年度新規採用の先生方を、各ブロックより選出して紹介するコーナーです。

第2ブロック

出雲市

出雲サンサン保育園

小豆澤美可先生

出雲サンサン保育園に勤務するフレッシュ先生は「小豆澤美可」さんです。地元で保育の仕事に就きたいと今春県外の学校を卒業し、現在0歳児担当として日々奮闘中です。

新人職員として不安な気持ちもある中で、子ども達の前では決して表情に出さない毅然とした保育をする姿に、先輩保育士から新たな戦力として頼りにされています。

日課としているベビーマッサージでは、先輩保育士に習い、子どもの顔を見ながら語りかけ、手足の指先まで丁寧にマッサージをしています。優しく落ち着いた雰囲気を感じ、子ども達も豊かな表情をしています。

保護者とのコミュニケーションにおいては、即答に困った時でも、解らないことは確認した上で返答するなど、冷静で適切な対応姿勢に感心しています。

子ども達の成長を糧に、色々なことを吸収して引き出しの多い笑顔溢れる保育士になることを期待しています。

(園長 須谷紀子)



第1ブロック

安来市

みゆき保育園

河村沙弥香先生

みゆき保育園のフレッシュで活な保育士2年生、「毎日子どもと笑って過ごしたい、子どもと一緒に成長していける保育士になりたいと思っています。」と笑顔で答えています。又、体育系女子でバレーボール選手で法人の他事業所の職員とチームを組んで島根県の医療団体のチームと一緒に大活躍です。又、みゆき和太鼓でも活躍、親元を離れて一人暮らしにも慣れ、毎日、2歳児クラスで悪戦苦闘、子ども達との笑顔の絶えない保育を目指し、日々子どもと一緒に成長していった欲しいと願っています。

(園長 稲田紀子)





フレッシュ先生の紹介

第4ブロック

益田市

吉田保育所

糸賀小織先生

今年4月から勤務しているフレッシュな保育士、糸賀小織さんをご紹介します。

彼女は、短大1年生のときに当法人が事業受託している益田養護学校放課後児童クラブでボランティア実習を、2年生のときには吉田保育所で保育所実習を行い、そして、卒業後の就職となりました。

この保育所に就職した喜びを、「私は、子どものときにあこがれていた保育士の先生と、今一緒に働いています。」と、市内保育組織の新人紹介時に大勢の前で語ってくれました。彼女が幼いころ通っていた保育園の保育士が、現在、当保育所に勤務しているのです。

浣刺と笑顔で働く小織さんもまた、園児があこがれる素敵な保育士に育っていくことと思います。
(所長 杉原幸江)



第3ブロック

邑南町

東光保育園

森脇由梨菜先生

4月の歓迎会の時「私は、子どもが好きで、保育士をめざし、一生懸命勉強して念願の保育士になることが出来、本当に嬉しいです。頑張ります」と挨拶した由梨菜先生。ここ邑南町に帰って来てくれました。

また、小中高と陸上部に所属し、中距離選手として活躍していた努力家の由梨菜先生であり、保育の中にもその姿がありコツコツ取り組み、弱音をはかない底力を感じます。由梨菜先生のまわりにはたくさんの先輩保育士がいます。お互いに刺激しあってみんなで成長していけたらと思います。お帰りなさい、由梨菜先生。

(主任保育士 篠原妙子)



やっでます



いつでも・だれでも・気軽に

隠岐の島町地域子育て支援センター（隠岐共生学園第二保育所内）

センター長 金井春美

隠岐の島町地域子育て支援センターは、隠岐の島町より委託を受け、隠岐共生学園第二保育所内に併設しています。支援センターにはプレイルームがあり、月々金まで無料開放し、手作り玩具、絵本等で自由に遊ぶことができます。また、職員が常時おり、お母さん方と気軽に話ができるようにし、必要に応じて、保育所の所長、主任、栄養士、看護師が相談にのっています。毎週火・木曜日はサークルを開き、歌、手遊び・リズム遊び・制作・園児との交流・発達に応じた遊びの紹介等を行っています。そして、一工夫で簡単にできる手作りおやつを食べながら、お母さん方は情報交換やおしゃべりを楽しんでいます。毎回十五・二十組の親子さんが参加され、最近では〇歳児が八割を占めています。予約なし、開始時間もはっきり設定しないことなど、いつでもどうぞ!!という気軽さがお母さん方にとってよいようです。

当日、利用される子どもたちの月齢等によって、活動内容や時間配分を変

更することもしばしばですが、親子さんにとって無理のないようにゆったりとした雰囲気心がけています。

〇歳児の利用が多いことから、赤ちゃんの夜泣き、便秘、離乳食についての相談がよくあり、その都度、夜泣きや便秘に効果のあるツボを知らせながらベビーマッサージを行っています。また保育所の〇歳児の部屋を見学しながら、担任や栄養士から話を聞くこともあります。

そして、育児講座として「わらべうたベビーマッサージ」「離乳食教室」「心肺蘇生講習」「パパママスクール」などを開催しています。今後、お母さん方からのニーズに応え、胎教マッサージ、産後ダンス教室なども予定しています。育児講座や教室を開催することをきっかけに支援センターに來られるようになった方もたくさんおられます。足を運んでもらうことによって、いろいろな問題や悩みは解決しないけれど少し解消し、「子育ては大変だけど、子どもってやっぱりかわいい!」と再認識してもらえたら...と思っています。

「お母さんの笑顔が子どもの笑顔に」と、まず職員が優しい笑顔で迎え、いつでも・だれでも・気軽に“をモットーに出入りしやすい支援センターでありたいと思っています。



こんな活動

「海で遊ぼう!!」五歳児交流保育

社会福祉法人平田保育会わにぶち保育所

所長 伊藤登志子

私たち平田保育会には五つの保育所があり、それぞれの規模や立地環境は大きく異なりますが、共通の保育理念のもとに、特性を生かした保育を行なっています。また平成十一年度から、活動の一環として年長児を対象に他の保育所の同年齢の友だちと一緒に活動する“五歳児交流保育”を行なっており、今年も年十一回、それぞれの保育所を会場に交流しています。

わにぶち保育所は出雲市の北部、岩のりの産地として有名な十六島(うつぶるい)湾が目の前に広がる高台にあり、保育所の坂道を降りたらすぐ海!まさに“プライベートビーチ完備”の恵まれた自然環境を生かして、毎年海水浴を楽しみます。

昨年は台風の影響等天候不順で計画を中止しているため、今年を取り組みへの思いは一段と強いものがありました。その気持ちに通じたのか、七月〜八月のすべての実施日とも波一つない海水浴日和

に恵まれ、子どもたちも大喜びでした。

バスでやって来た他の保育所の友だちとの対面のつどいの後、いざ海へ!湾内の遠浅の砂浜とはいえ、海での活動には細心の注意をはらう必要があります。そのため当日の朝には前もって職員が海に入り、安全確認を行なった上で“浮き”を設置し、子どもたちにしつかりと活動範囲を知らせました。

一時間あまりの活動の間、終始聞こえてくる元気な声とあふれる笑顔。心もからだも十分に開放して遊ぶ子どもたちを見ながら、改めて自然の力の大きさに気づきました。自然豊かな鰐淵の地域で子どもたちの成長に寄り添えることを、本当に幸せに思います。

今年、わにぶち保育所は新築移転のため十二月をもって現所舎での四十六年の歴史の幕を閉じ、この地での生活も終えることとなります。その節目の年に寄稿の機会をいただけたことに感謝します。



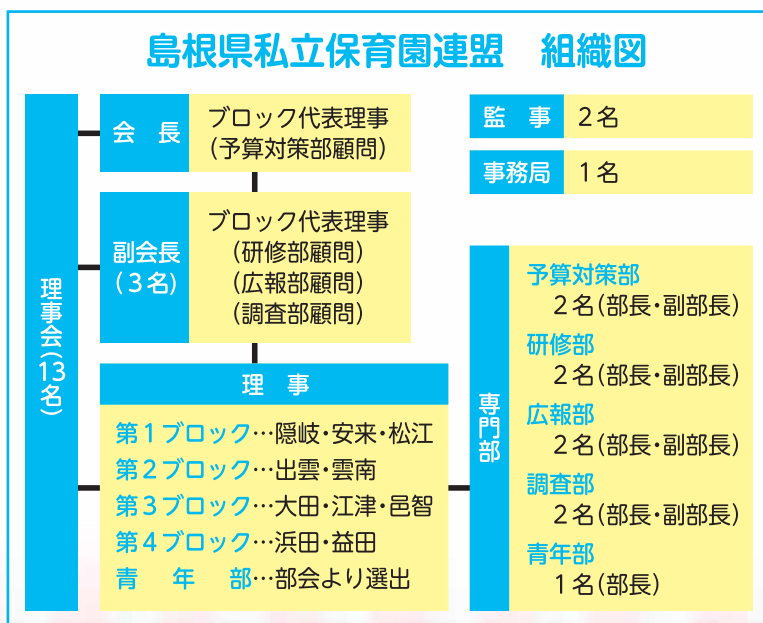
発 展 的

今年度の組織編制について

このたび島根県私立保育園連盟の組織が再編されました。会員として新たに、認定こども園(幼保連携型及び保育所型)、そして小規模保育事業(A型及びB型)が加わりました。また、島根県私立保育園連盟青年会議は、新たに専門部に青年部として位置づけられました。この青年部については、構成などをこの1年をかけて検討し、早いうちに活動していくものと思われま

す。そして、事業部の業務については、そのまま事務局が引き継ぎ行うものとなりました。いずれにせよ、現在の状況に合ったものに再編されたわけです。

島根県私立保育園連盟 組織図



私たちは、これらの動きを「発展的に」捉えたいと思います。子ども子育て支援制度の開始に伴う大きな動きに対応し得る組織体となるためにも、私たち会員の主体的な関わりが不可欠です。

あらゆる面で、末広がりの私保連を、ともに築いていきましょう。(組織図参照)

広報部顧問 南場安正

子どもの つ・ぶ・や・き

もしも、おばけと友だちになったら

“おばけなんてないさ”
の歌をうたったあと、Tさんが
「オレ、おばけと友だちになったら、
一緒にチョコレート食べたいな〜」

あれっ！ふしぎ

てんとう虫の幼虫を
初めて見たRくん
「これ てんとう虫になるの？
全然似てないのにすご〜い！」

ぼくたちライバル

坂道ダッシュでいつも
競争しているKさんとSさん
その日は同時にゴールした2人…
「きょうは いっしょに一番だね!!」と
ひきつった顔でニッコリ

編集後記

4月に「子ども・子育て支援新制度」が施行されて半年経とうとしています。まだまだわからないことだらけの私ですが、かわいい子どもたちの笑顔にパワーをもらいながら、がんばっています。「私保連しまね第39号」をお届けします。お忙しい中、執筆にご協力いただいた先生方に心より感謝申し上げます。
(広報部副部長 長崎八重美)

私保連しまね No.39

発行日／平成27年(2015)10月10日
発行者／吉田 哲明

発行所／島根県私立保育園連盟(くもぎ保育園)
編集者／山本 恵子・長崎八重美